

授業科目名	日本語表現	教員名	牧菌 仁志	免許・資格との関係	小学校教諭	
					幼稚園教諭	
授業形態	講義	担当形態	単独		保育士	選択必修
					こども音楽療育士	
科目番号	JIN105	配当年次	1年前期	卒業要件	小幼コース	選択
単位数	2単位				幼保コース	選択必修
科目						
施行規則に定める科目区分又は事項等						
科目	教養科目（保育士）					
系 列						
一般目標 到達目標	<ul style="list-style-type: none"> ・日本語への関心を高め、日本語の特色を理解する。【日本語への関心・理解】 ・さまざまな表現方法を理解し、自分の考えや心情を表現できる。【表現方法の修得】 ・自分の生き方や社会との関わりに関心を持ち、よりよい生き方を探求する。【生き方の探求】 					
授業の概要	<p>学生自身が興味・関心を持った日本語に関するテーマ（例：敬語、方言、「は」と「が」の違い等）について各学生が全員の前でプレゼンテーションを行ったあと日本語に関して話し合い、日本語の特色や用法等を理解する。また、社会事象に関するスピーチやグループ・ディスカッション等の音声表現と自らの生き方や社会のあり方を考える小論文作成等の文字表現の両方の実践的な学習をととして、表現力やコミュニケーション能力の向上を図る。</p> <p>アクティブラーニングとして振り返り、レポート等を取り入れる。</p>					
ディプロマ・ポリシーとの関係	<p>本講義は、教育学部のディプロマ・ポリシーに掲げる「1. 社会・教育等に関連する国内外の様々な問題について、現状・課題を認識し、その解決策を考察できる能力を身につけている。」「3. 教育者として、持つべき十分な記述力・プレゼンテーション能力・コミュニケーション能力を身につけている。」を育成する科目として配置している。</p>					
授業計画	<p>第1回：授業概要等説明 授業の目的、内容、方針について説明するとともに、日本語に関するグループ発表のテーマを決定する。</p> <p>第2回：音声表現の種類とその表現方法（1）音読、朗読、スピーチ 音読、朗読、スピーチの目的と方法を学習し、それぞれの実践を行う。</p> <p>第3回：音声表現の種類とその表現方法（2）プレゼンテーション、ディスカッション、ディベート プレゼンテーション、ディスカッション、ディベートの意義と方法を学習し、ディスカッションの実践を行う。</p> <p>第4回：文字表現の種類とその表現方法（1）はがき、手紙、履歴書、レポート はがき、手紙、履歴書、レポートの書き方を習得し、自分の履歴書を作成する。</p> <p>第5回：文字表現の種類とその表現方法（2）小論文の作成方法 小論文の種類（テーマ型、課題文型等）とそれぞれの特色、作成方法および推敲について学習する。</p> <p>第6回：小論文作成の実践 「教育とは何か」というテーマで800字以内の小論文を作成する。</p> <p>第7回：小論文の評価 第6回で作成した小論文の中から適当なものを材料として、評価方法や添削のありかたについて学習する。</p> <p>第8回：文学的文章の作成俳句、短歌、詩、随筆 俳句、短歌、詩、随筆の代表的な作品を鑑賞するとともに、それぞれの創作を行う。</p>					

	<p>第9回：文学的文章の評価 第8回で創作した作品の中から適当なものを材料として、評価方法を学習する。</p> <p>第10回：グループ発表日本語に関して調査研究したことを発表する。(1) 日本語の歴史、漢字・平仮名・片仮名を調査研究したグループが発表して質疑応答を行う。</p> <p>第11回：グループ発表日本語に関して調査研究したことを発表する。(2) 品詞とその働きについて調査研究したグループが発表して質疑応答を行う。</p> <p>第12回：グループ発表日本語に関して調査研究したことを発表する。(3) 敬語、方言について調査研究したグループが発表して質疑応答を行う。</p> <p>第13回：グループ発表日本語に関して調査研究したことを発表する。(4) 対義語・類義語、同訓異義語、四字熟語、ことわざ・慣用句について調査研究したグループが発表して質疑応答を行う。</p> <p>第14回：日本語の特色に関するまとめ 第10回から第13回までの各グループの発表をもとに、日本語の特色について考える。文字の種類、文法、膠着語、音韻、敬語や方言の発達、比喩等</p> <p>第15回：日本語による修辞法に関するまとめ 比喩、擬人法、倒置法、対句法、反語法等を学習し、それらを使って文章を作成する。</p> <p>定期試験：日本語による表現に関する小論文作成 ※第1回と第15回を除く授業においては、宿題として800字の小論文作成を課す。</p>
学生に対する評価	<p>定期試験(40%)、レポート(30%)、発表の内容(30%)を総合して評価する。</p> <p>なお、レポート・答案等の提出物へのフィードバックについては、以下の方法等による。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・コメントを記載して返却する。 ・授業またはオフィスアワーに、口頭で行う。 ・答案例を配布する。
時間外の学習について	<p>(事前・事後学習として週4時間以上行うこと。)</p> <p>講義内容に関するレポートなどを課すので、解答して正解を確認した上でファイルし、振り返りの参考とすること。</p>
テキスト	必要に応じてプリントを配布する。
参考書・参考資料等	授業の中で適宜紹介する。
担当者からのメッセージ	特になし
オフィスアワー	<p>授業の前後の時間</p> <p>その他、メール等によりアポイントを取る。</p>